

前回定例会（平成29年10月4日）以降の主な動き

平成29年11月1日
資源エネルギー庁
柏崎刈羽地域担当官事務所

1. 電気事業関連

- (1) 総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会 制度検討作業部会（第12・13回）【10月6日、30日開催】

電力システム改革の目的（①安定供給の確保、②電気料金の最大限の抑制、③事業者の事業機会及び需要家の選択肢の拡大）達成に向けて、各制度の実効性を高めるため、実務的な観点を中心に踏まえるべく、幅広い関係者に意見を求めつつ、詳細制度の検討を行う。

第12回は、容量市場について、第13回は、間接送電権及びベースロード電源について議論。

- (2) 総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会（第5回）【10月24日開催】

電力・ガス分野の幅広い政策課題について、安全性、安定供給、経済効率性、環境適合性というエネルギー政策の基本的視点から総合的な検討を行う。

第5回は、電力・ガス小売全面自由化の進捗状況、2017年度冬期の需給見通しと電気供給に係る現状と課題などについて議論。

- (3) 使用済燃料対策推進協議会（第3回）【10月24日開催】

平成27年10月に、最終処分関係閣僚会議において決定した「使用済燃料対策に関するアクションプラン」に基づき、事業者が策定する「使用済燃料対策推進計画」の確認及びフォローアップ等を行う。

第3回は、事業者から、使用済燃料貯蔵対策への対応状況などについて報告があった後、経産大臣から、計画の実現に向けた具体的な対応の一層の強化など、事業者間で連携して取り組むべき事項を要請。

2. 新エネ・省エネ関連

- (1) 総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会新エネルギー小委員会 系統ワーキンググループ (第12回) 【10月17日開催】

電力会社の接続可能量の検証、接続可能量の拡大方策等について検討を行う。

第12回は、各社の30日等出力制限枠および出力制御の見通しなどについて議論。

3. その他

- (1) 資源エネルギー庁ホームページ「スペシャルコンテンツ」サイト開設 【10月30日公表】

国民のみなさまにエネルギーに対する関心や理解を深めていただくことを目的として、「スペシャルコンテンツ」サイトを開設。

幅広い人々に向けて、資源エネルギー庁が進めている政策やエネルギーに関する基礎知識、各種データなどを分かりやすく発信し、これからのエネルギーについて考えを深め、議論していただく際に役立つ材料を提供。

例えば、記事として、「再エネの大量導入に向けて～「系統制約」問題と対策」、「FIT法改正で私たちの生活はようになる？」などを掲載。

ご関心のある方は、以下の資源エネルギー庁ホームページを参照願います。

<資源エネルギー庁ホームページ該当ページ>

<http://www.enecho.meti.go.jp/about/special/>

- (2) LNG産消会議 2017 【10月18日開催】

本会議は、生産国・消費国がLNGの長期的な需給見通しの共有と取引市場の透明化に向けた連携を図るプラットフォームとして、2012年より毎年開催。

今回は、閣僚級、関係企業のトップを含め、世界32カ国・地域から1200人を超える関係者の参加を得て、LNG市場の最新の動向について認識を共有するとともに、今後のLNG市場の発展に向けて議論。

(以上)